

授業科目 レクリエーション指導法				科目コード番号
【担当教員名】 小林 敬子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p><概略></p> <p>レクリエーション指導論で学んだ基礎的理論を土台として、レクリエーション援助のための指導方法やレクリエーション計画の作成を実践的・体験的に学ばせ福祉や医療の現場でのレクリエーションの利用や応用が可能となる知識と技術を習得させる。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 レクリエーション財に関する基本的な知識を持つ。 2 レク援助技術の基本を身につける。 3 利用者との信頼関係を築くためのコミュニケーション力を育てる。 4 レクリエーションの活動計画が立てられる。 				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1 ～ 4	福祉・医療分野でのレク援助の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 集団を介したレク援助に適したレク財の内容と展開法について学ぶ（うた・ゲーム・体操などを用いて） 2 個別的なレク援助に適したレク財の内容と展開法について学ぶ（うた・会話・マッサージなどを用いて） 		講義と実習
5 ～ 6	レク援助者の資質と役割について	レク援助を行う際の、利用者とのコミュニケーションの大切さについて学ぶ。コミュニケーション・ワークを通して、自己理解と他者理解について認識を深める。		講義と実習
7 ～ 9	レクリエーション計画のすすめ方	レクリエーション活動のプログラミングについて作業を通して学ぶ。		講義と実習
10 ～ 13	レクリエーション指導演習	状況に応じたレク援助についてグループごとに実際に行ってもらい、評価をし合う。		演習
14	様々な場に応じたレク援助の可能性	病院・老人福祉施設・デイサービス施設・在宅訪問介護等におけるレク援助の現状について知り、問題点と展望を探る。		講義とグループ討議
15	レクリエーションの可能性について	まとめ		講義とグループ討議
【評価方法】				
出席や授業中の態度（積極性）を重視する。 動きやすい服装で出席すること。				
【履修上の留意点】				
出席・実習の態度・レポート・定期試験等から総合的に評価する。				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	レクリエーション活動援助法 (介護福祉士養成講座⑥)	福祉士養成講座 編集委員会編	中央法規	2001発行改訂版 2200円
参考書	あそびの世界をつくる —楽しいゲーム指導系の手引き—	宇田川光雄	全国こども会 連合会	520円
その他 (プリント等)				